

第 68 回全国国公立大学選手権水泳競技大会 監督者会議 (資料)

全ての参加校へのご案内

- ・必要に応じて、事前に各自で本資料を印刷してください（会場での紙媒体の配布は、行いません）。

オンラインで参加される学校へ

- ・下記 URL より参加してください（通信料は、参加者負担となりますのでご了承ください）。
14:45 より入室いただけます。
- ・会議に参加される際は、参加者名を「登録団体番号+大学名」として、待機してください。
管理者にて大学名の確認ができましたら、ログインを「承認」いたします。
- ・原則、1 大学 1 アカウントでのログインにご協力ください。
- ・カメラは常時 OFF としてください。
また、質疑応答の時間帯に指名された場合を除いて、マイクも OFF としてください。



監督者会議 URL

<https://us02web.zoom.us/j/81133157943?pwd=Mj1lTRU9UOC9yQkhiNj1lKkY91Zjh1Zz09>

(QR コードもご利用いただけます)

- ・ミーティング ID: 811 3315 7943
- ・パスコード: 758106

会場で参加される学校へ

- ・会議への参加者は 1 校につき、1 名以内とします。
- ・二次要項の通り、1 日目の 4×100m メドレーリレーに出場しない学校は 14:40 までに退館いただけます。
但し、監督者会議に参加するため、14:45 以降に再入館を希望される場合は、入口で申告してください。
各学校につき、1 名の入館を許可します。

大会に参加するにあたって

- (1) 所属する学校から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前 2 週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・嗅覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。また、「健康チェック表」は毎日 1 枚提出とし、提出分は返却しないため、記入事項の控えを取るとともに、入館日数に応じて複数枚を準備すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに付添者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。

- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) を活用できるよう準備する。COCOA を入れている場合は、電源をONにした上で Bluetooth を有効にすること。
また、大会期間中の行動を記録しておくこと。(例えば、会場内での移動場所および時間帯。さらに、スタンドや選手控え所での座席位置等)
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクを外してもよいが会話を控えること。招集所で外したマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) コーチ・マネージャーは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離 (2m以上) をとって行動すること。
- (8) レース終了後、更衣室で水気を取り、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (9) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。(レース直前のスタート台付近や、プールでの練習時)
- (10) 食事は、選手控え場所および観客席で、人との距離を 2m以上保ち単独で摂ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (12) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕 (各校 1 枚の部旗は認める)、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット (個人専用は持ち込み可)
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具 (個人専用は持ち込み可)
 - ・ 練習時のパドル・コード類

1. 競技について

- (1) 本競技会は 2021 年度 (公財) 日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、全て 8 レーンで行い、タイムスケジュール通りに実施する。
- (3) リレー競技はタイムレース決勝で行い、それ以外の種目は予選、決勝を行う。決勝は予選の結果上位 8 名が出場できる。なお、決勝進出者は 1 校につき上位 2 名までとする。
- (4) 決勝進出において、同記録で予定人員を超えた場合はスイムオフを行う
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。決勝種目の補欠は 2 名とする。
- (6) 招集は競技開始 10 分前から行う。招集所へは、ADカードを首から下げて、必ずマスクを着用し、ユニフォームなどを入れる袋 (ビニール袋など) を持参すること。なお、招集所では水着の確認を行う。
- (7) 棄権する場合は、届け出用紙に記入し、指定時間までにリゾリユーションデスクに届け出ること。来場できない場合は、棄権届 (メール提出用) を作成し、指定時間までにメールで提出すること。

	予選競技	決勝競技	リレー競技
8月7日 (土)	—	—	15:30
8月8日 (日)	9:10	13:45	13:45
8月9日 (月)	8:40	12:50	12:50

【提出先メールアドレス】: tabata@swim-kansai.com

時間内に届け出をしなかった場合は、個人種目・リレー種目ともに棄権料 3,000 円、無断で棄権した場合は、さらに罰金 3,000 円を徴収する。また、決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その種目の予選終了後 1 時間以内に、棄権料 3,000 円を添えてリゾリユーションデスクに届け出ること。棄権申告後、上訴審判の裁定により棄権が受理された場合は、繰り上げ選手の決定を行う。

- (8) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。リレー種目の第 1 泳者から第 3 泳者についても、ゴールタッチ後は折返し監察員の指示により、プール横から退水すること。
- (9) 計時バックアップは、半自動計時装置を使用する。

- (10) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、タイムレース決勝（最終組以外）は自レーンで選手紹介を行う。また、決勝・タイムレース決勝（最終組）は入場ゲートで選手紹介を行う。決勝・タイムレース決勝（最終組）に出場する選手は、氏名、学校名の通告を受けてから入場すること。
- (11) リレーオーダーは下記の時間までにリゾリューションデスクに提出すること。

	提出締切時刻
8月7日（土）	15：30
8月8日（日）	13：45
8月9日（月）	12：50

- (12) 本競技会は、上訴審判団を設置する。

2. スケジュールについて

月 日	日程	開門時間	予選競技		決勝・タイム決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
8月7日（土）	1日目	13：00	—	—	16：30	17：37	19：00
8月8日（日）	2日目	7：30	9：30	12：45	15：00	17：25	18：30
8月9日（月）	3日目	7：30	9：00	11：50	14：00	16：30	17：30

8月8日（日） 開始式（9：10～）

8月9日（月） 閉会式（決勝競技終了後直ちに行う）

3. プールの使用について

- (1) プールの使用時間については、事前に公開している二次要項を確認すること。
- (2) 練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。
- (3) パドル・コード類の使用は禁止する。
- (4) 練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。ただし、電子ホイッスルの使用は可とする。
- (5) メインプール
- ① 水深は2.0m、水温は27.5℃に設定する。
 - ② 朝の練習は、1日目と3日目は競技開始15分前まで、2日目は開始式10分前までとする。
 - ③ 2日目と3日目は、出場種目ごとに時間指定とする。
 - ④ 練習時のメインプールのレーン指定は次の通りとする。
 - ・ 2日目の朝と昼休み
 - 0レーン：ダッシュレーン（スタート側からの一方通行とする）
 - 1～7レーン：フリーレーン
 - 8レーン：ペースレーン（クロールスイムのみでの使用可）
 - 9レーン：ダッシュレーン（ターン側からの一方通行とする）
 - ・ 2日目の競技終了後と3日目
 - 0・1レーン：ダッシュレーン（スタート側からの一方通行とする）
 - 2～8レーン：フリーレーン
 - 9レーン：ペースレーン（クロールスイムのみでの使用可）
- ※スタート側のダッシュレーンは、利用人数によりレーン数を拡大する。
- ⑤ 昼休みの練習は、決勝競技開始15分前までとし、当日決勝・タイムレース決勝出場者のみとする。
 - ⑥ 公式スタート練習は行わない。
- (6) サブプール
- ① 水深は1.4m、水温は27.5℃に設定する。
 - ② 飛び込みは禁止する。

- ③ 7レーンは、ペースレーンとする。
- ④ ホイッスルの使用は禁止する。電子ホイッスルの使用は可とする。

(7) ダイビングプール

- ① 水深は 1.4m に設定する。
- ② 競技中はダウン専用とする。
- ③ 飛び込みは禁止する。5m フラッグがないため、泳ぐ際は注意すること。
- ④ クーリングダウンでの使用を目的とするので、電子ホイッスルを含めホイッスルの使用は禁止する。

4. 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。
- (2) 各種目の 1～3 位にはメダルおよび賞状を、4 位～8 位に賞状を授与する。
- (3) 選手権獲得校には優勝杯ならびに賞状を、2 位～8 位に賞状を授与する。
- (4) メダル・賞状の引き渡しは、1 階ロビーの引渡所にて行う。
- (5) 記録証の発行受付は、リゾリューションデスクで行う。

発行受付時間 (予選競技) 予選競技開始～予選終了後 1 時間
(決勝競技) 決勝競技開始～決勝終了後 30 分

5. 館への入退館について

- (1) 本大会は無観客とする。AD カードを持っている選手・付添者以外は入館できない。
- (2) 館への入退館時間については、事前に公開している二次要項を確認すること。付添者の入館は、所属チームの出場者が入館できる時間に限り、入館を認める。
- (3) 選手・付添者の入退館は、2 階入口を使用する。
- (4) 入館前に手指のアルコール消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館する。入館時の検温で 37.5℃ 以上あった場合は、別の場所で再度検温する。それでも 37.5℃ 以上あった場合は入館できない。
- (5) 健康チェック表は、次のとおり提出・一時返却・再提出を行う。当該競技開始までに、提出の確認がとれなかった場合、失格となる場合がある。

全ての入館者

- ① チームごとに、同じ時間区分で入館する人数分の健康チェック表をまとめて提出し、提出書類と同じ順番に並んで待機しておく。
 - ② 一人ずつ、点呼を受けたら、AD カードを提示し、入場する。
- ※ 決勝競技時間から入場する者は、起床時と決勝競技前の両方に体温を記入すること。

決勝進出チーム(選手・付添者)

決勝進出チームおよびその付添者は、退館せずに場内に留まることができる。

- ① 決勝進出チームは、予選終了後、1 階選手受付にて健康チェック表の一時返却を受ける。
- ② 選手、付添者の決勝前検温を行い、健康チェック表に追記の上、決勝競技開始前までに、選手受付へ再提出する。

退館時

- ① 2 階入口のチーム受付に、退館する(当日中には再入場しない)ことを申告して退館する。
- ② 入館後に一時退館を希望する場合は、チーム受付で再入館証を受け取ること(紛失した場合は再入館できない)。その後、再入館する際は、再度手指のアルコール消毒、検温を受けること。その際、発熱等あった場合は入館できないことがある。

6. 館の使用について

- (1) 本大会専用の AD カードを使用する。館内にいる時は常時、首にかけて着用すること。紛失した場合には有償(3,000 円)にて再発行を受けること。ただし、付添者 AD カードについては再発行を行わない。AD カード

- ドの管理は厳重に行うこと。また、入退場の際は、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
- (2) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。選手控え場所・観客席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。指定された場所以外は、一切使用しないこと。
 - (3) 場所取り入場は、行わない。観客席・控え場所の割振りは各支部の大学間で調整すること。
 - ① 控え場所は、観客席と周囲のフリースペースとする（別紙会場図参照）。観客席は、1席以上の間隔を保って使用すること。また、フリースペースでは、人との距離を2m以上確保すること。
 - ② シード校は、予め指定されたメインプール観客席およびダイビングプール側フリースペースを使用できる。その他の学校は、メインプール観客席および後面フリースペース、2階通路の指定されたフリースペース、サブプール観客席を使用できる。
 - ③ 指定された場所以外は場所取り禁止とする。
 - ④ 荷物は、入館日から8月9日まで、指定された観客席・選手控え場所に置くことができる。ただし、盗難について主催者は責任を負わない。メインプール観客席への置き荷物は認めるが、荷物を置いていく場合は、観客席でメインプールに背を向けて立ち、チームで使用した範囲の左上の隅にまとめて置いておくこと。
 - ⑤ 利用した場所は、各大学の責任において消毒すること。なお、更衣室、招集所、出入り口のドアなど共用部は大会主催者が消毒を行う。
 - (4) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。したがって、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
 - (5) マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等の持ち込みは禁止する。運動指導や救急対応（アスレティックトレーナーの行うテーピング等）は、3密を回避した状態で、感染対策を十分に行ったうえで対応可能とする。
 - (6) 部旗は1校1枚に限り、各校にて**メインプール観客席の最前列から**掲出すること。**但し、ガムテープは使用しないこと。横断幕、のぼりは不可とする。また、8月9日の最終退館までに各校で取り外して持ち帰ること。**
 - (7) サブプールは、水泳練習とドライランド・ストレッチ等の使用のみとし、待機および食事場所とすることはできない。
 - (8) 更衣には、更衣室を使用できる。ただし、ロッカーは使用できない。更衣室を待機および食事場所とすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また、競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
 - (9) 更衣室での着替え時間を短縮するため、できるだけ水着を着用した状態で来場すること。状況によっては更衣室の利用人数を制限することがある。更衣は短時間で済ませるようにすること。
 - (10) 泳ぐとき以外は原則として常にマスクを着用すること。（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）。レース前に外したマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。レース後、ダウンを終えて更衣室に入る前に、マスクを着用するよう努めること。
 - (11) 選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
 - (12) プールでの練習中、レース後など、マスクを着用しない選手と会話する付添者は、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
 - (13) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - (14) 食事は、選手控え場所および観客席で、人との距離を2m以上保ち単独で摂ること。ドリンクの回し飲みはしないこと。
 - (15) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。ワンパ、円陣、ハイタッチは禁止する。拍手・手拍子、スティックバルーンの使用は認めるが、メガホンの使用は禁止する。
 - (16) 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。会場外でのミーティング等は控えること。

7. その他

- (1) 2、3日目は、マネージャーミーティングを8:00（受付7:45）より招集所にて行う。
- (2) 開始式、閉会式でのプールサイドへの部旗を持つての入場、整列は感染症対策として実施しない。
- (3) 招集所には、招集をうける競技者以外は立ち入ることはできない。

- (4) 会場内・アリーナ内では必ず、所属校のユニフォームを着用すること。高校名・スイミング名等の入った物の使用は固く禁ずる。
- (5) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (6) 大会プログラムは、事前購入のほか、各チーム1冊無料配布する。当日販売は、冊数に限りがあるため、先着順とする。決勝スタートリストは、大会公式サイトにて無償公開する。
- (7) 競技結果を、以下の公式サイトで確認することができる。会場内の公式掲示板は設置しない。
 - ① (公財)日本水泳連盟公認サイト「Results of Japan Swimming」(<https://result.swim.or.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)
 - ③ 全国国公立大学選手権公式サイト (<https://zenkokko.jp/2021/index.html>)また、競技の映像配信は行わない。
- (8) 駐車場は、「秋田県立向浜運動広場駐車場」のうち、指定された範囲を使用すること。
- (9) 本連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を遵守すること。競技会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
- (10) 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (11) 全ての大会参加者は、大会期間中の行動を記録しておくこと。(例えば、会場内での移動場所および時間帯。さらに、スタンドや選手控え所での座席位置等)
- (12) 入場時に2日間続いて「37.5℃以上」に達するなど、「入館できない条件」に該当した場合は、医師の判断を仰ぎ、関係各所に連絡をする。
- (13) 会場への移動時や館内においても、熱中症には十分に留意し、こまめな水分補給を心がけること。
- (14) コロナ禍での大会開催を鑑み、居住地からの移動時、宿泊地と会場の移動時、夜間の外出や食事等、感染症対策に則った行動をとること。
- (15) 参加者数の減少により、入館時間や練習時間を変更する場合は、会場内の電光掲示板および全国国公立大学選手権公式サイト (<https://zenkokko.jp/2021/index.html>) にて案内する。
- ~~(16) 3日目、帰省のために入館を希望する選手(リレー選手・交替要員のうち、3日目のリレー種目に登録していない選手)がいる場合は、8月7日(金)の18時まで以下記URLにアクセスし、必要事項を入力すること。対象選手の3日目の入館の手順は、2日目のマネージャー会議で案内する。~~

~~回答フォーム：<https://forms.gle/f4rDUGz4mrHvUfC2A>~~

以上